

## 第2章 主要課題の整理

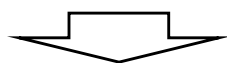
### 2-1 課題の整理

本市の概況や特性、上位関連計画における方針や位置づけ、住民意向調査の結果等を踏まえ、まちづくりに関する「土地利用」「都市施設」「都市環境」の項目ごとに課題を整理します。

#### 2-1-1 土地利用

##### (1)住宅地

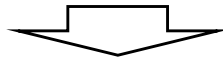
項目	現況・計画の位置づけ等
今日の社会情勢	<ul style="list-style-type: none"><li>・ライフサイクル・スタイルの多様化</li><li>・QOL(クオリティ・オブ・ライフ：生活環境の質)の追究</li></ul>
本市の現況	<ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少が進行している</li><li>・高齢化が進行している</li></ul>
上位関連計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・古くから市街化が進んでいる既成市街地において、土地区画整理事業や地区計画制度の活用により計画的な住宅地の整備と居住環境の改善に努める(区域マス)</li><li>・分野の施策の展開状況や市内での居住環境の需要を把握するとともに、関係機関や事業者との連携を図りながら、需要に応えるための居住環境整備を促進する(長期総合プラン)</li><li>・利活用可能な空家については、情報発信するとともに、空家のリフォーム支援など空家を活用した住環境の整備を促進する(長期総合プラン)</li><li>・住宅周辺の道路、公園、上下水道等の生活関連施設の整備を計画的に進めながら、良好な居住環境が形成されるよう必要な用地の確保を図る(国土利用計画)</li></ul>
住民意向 (市民アンケート)	<ul style="list-style-type: none"><li>・空き地・空き家等への対策について、施策の重点化や改善が求められている(重要度高・満足度低)</li></ul>



課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>■住環境の維持、向上<ul style="list-style-type: none"><li>・若者や子育て世代、高齢者等のニーズに対応し、だれもが安全かつ快適に過ごせる住環境づくりを進める必要がある</li><li>・進行する人口減少を見据えたコンパクトな住宅地づくりを進める必要がある</li></ul></li><li>■空家等への対応<ul style="list-style-type: none"><li>・空家、空地等の有効活用により、居住の促進を図る必要がある</li></ul></li></ul>

## (2)商業地

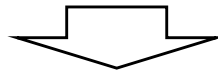
項目	現況・計画の位置づけ等
今日の社会情勢	・消費者の低価格志向に加え、インターネット通販の普及や郊外型店舗の影響により、商店街での消費が伸び悩んでいる
本市の現況	・商店数、従業者数は減少傾向にある ・商品販売額は長期的に見ると微増傾向にある
上位関連計画	・商工会等の関係機関と連携し、情報発信やイベント開催など商店街の主体的な取り組みを支援する(長期総合プラン) ・商店街の活性化に向け、空き店舗の利活用に対する支援や誘客イベントを企画・開催するための支援を行う(総合戦略)
住民意向 (市民アンケート)	・買い物をする店舗について、施策の重点化や改善が求められている(重要度高・満足度低)



課 題
<p>■賑わいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の中心市街地の魅力とにぎわいの創出を図る必要がある</li> <li>・既存の商業地のあり方や、新たな商業地の必要性・将来性について検討を図る必要がある</li> </ul> <p>■賑わいのある商業地づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街に人を呼び込むイベント等の開催への支援、空き店舗の利活用促進を図る必要がある</li> </ul>

### (3)工業地

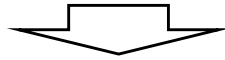
項目	現況・計画の位置づけ等
今日の社会情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への負荷に配慮した工業地</li> <li>・ICTの進化に伴う産業のグローバル化</li> </ul>
本市の現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造品出荷額は長期的に見ると増加傾向にある</li> </ul>
上位関連計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力や強み、立地環境等の情報発信を行うとともに、エネルギー関連をはじめとした関連事業者の新たな雇用創出を図る(総合戦略)</li> <li>・新たな生業づくりを目指す意欲ある起業家や既存企業が取り組む事業の支援制度の充実を図る(総合戦略)</li> </ul>
住民意向 (市民アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場所(工場・事業所)について、施策の重点化や改善が求められている(重要度高・満足度低)</li> </ul>



課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>■産業基盤づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の雇用促進に向け、新たな産業を誘致する受け皿となる産業基盤づくりを進める必要がある</li> </ul> </li> <li>■産業用地の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内において、松崎工業団地と尾上農工団地の2か所の工業団地は完売しており、新たに企業誘致を推進するためには、産業用地を確保する必要がある</li> </ul> </li> </ul>

#### (4)農地・自然地

項目	現況・計画の位置づけ等
今日の社会情勢	・環境保全に対する意識の高まり
本市の現況	・総農家数、経営耕地面積ともに減少傾向にある
上位関連計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人・農地プラン」に沿って、農地のあっせん情報の収集・提供を行い、担い手の農地の集積・集約化を促進する(長期総合プラン)</li> <li>・農用地の利用転換を行う場合には、無秩序な転用を抑制し、優良農用地が確保されるよう十分考慮する(国土利用計画)</li> </ul>
住民意向 (市民アンケート)	・山林・農地・河川などの自然環境の保全の満足度が比較的高い(重要度低・満足度高)

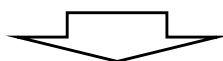


課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>■自然環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林、水辺等の豊かな自然環境を維持・保全していく必要がある</li> </ul> </li> <li>■農地・農村環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の荒廃は、その周辺農地での営農活動を妨げる要因にもなることから、地域が一体となって農地と農村環境の保全を図る必要がある</li> </ul> </li> </ul>

## 2-1-2 都市施設

### (1)交通施設

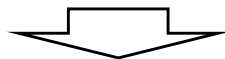
項目	現況・計画の位置づけ等
今日の社会情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存ストックの維持管理の適正化、長寿命化の推進</li> <li>・コンパクト・プラス・ネットワークを実現する公共交通ネットワークの形成</li> </ul>
本市の現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未整備の都市計画道路が存在している</li> <li>・JR 奥羽本線と弘南鉄道の2本の鉄道が存在する</li> <li>・デマンド交通「のらっさ」が運行している</li> </ul>
上位関連計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ネットワークの機能停止を防ぐため、防災対策の強化を図るとともに、道路や鉄道、バス路線等の維持を図る(国土強靱化)</li> <li>・JR 奥羽本線、弘南鉄道弘南線の各駅前では、広場や駐車場や駐輪場などの整備による交通結節機能の強化を図り、鉄道利用の利便性の向上を図る(区域マス)</li> <li>・幹線道路の整備に向けて関係機関との連携を図るとともに、地域の実情に応じた生活道路の整備を推進する(長期総合プラン)</li> <li>・路線バスおよび鉄道は、今後も周辺市町村、関係団体および事業者と連携して利用促進を図り、市民のニーズに合わせた適切な運行の維持に努める(長期総合プラン)</li> </ul>
住民意向 (市民アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路や生活道路の整備の満足度が比較的高い(重要度高・満足度高)</li> <li>・歩道の整備について、施策の重点化や改善が求められている(重要度高・満足度低)</li> <li>・路線バスや鉄道の利便性について、施策の改善や見直しが求められている(重要度低・満足度低)</li> <li>・最寄りの鉄道駅付近の整備について、施策の改善や見直しが求められている(重要度低・満足度低)</li> </ul>



課題
<p>■交通ネットワークの強靱化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ネットワークが分断する事態を防ぐため、道路施設や鉄道施設の防災対策を推進するとともに、バス路線等の維持を図る必要がある</li> </ul>
<p>■公共交通ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造の構築に向け、公共交通の維持と利便性の向上を図る必要がある</li> </ul>
<p>■公共交通利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内を運行する鉄道や路線バス等の利用状況を把握し、利用促進に向けて取組む必要がある</li> <li>・デマンド交通「のらっさ」については、誰もが利用しやすい公共交通として、サービス機能の維持、利用促進を図る必要がある</li> </ul>

## (2)公園・緑地

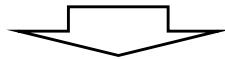
項目	現況・計画の位置づけ等
今日の社会情勢	・ 防災面に配慮した機能や設備、需要の拡大
本市の現況	・ 全ての都市計画公園が整備済みとなっている
上位関連計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災拠点機能を有する公園緑地として、総合公園、運動公園等の大規模な公園を適切に配置し、その他の公共施設緑地等と連携して災害時の避難拠点としての機能を強化する(区域マス)</li> <li>・ 市民が交流の場や憩いの場として安心して利用できるよう、公園施設の適正な維持管理に努め、潤いとやすらぎの空間としての公園機能の充実を図る(長期総合プラン)</li> </ul>
住民意向 (市民アンケート)	・ 公園や広場、子どもの遊び場等の整備について、施策の改善や見直しが求められている(重要度低・満足度低)



課 題
<p>■公園・緑地の維持・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近で自然と触れ合うことができ、さまざまな活動や交流・憩いの場として活用されている公園について、快適な環境を確保するために適切な維持管理や公園施設の長寿命化を図る必要がある</li> </ul>

### (3)河川・下水道

項目	現況・計画の位置づけ等
今日の社会情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模な風水害の全国的な頻発</li> <li>・ 避難体制の構築等、災害時の対応に対する意識の高まり</li> <li>・ 公共施設の総合的な維持管理に関する計画の策定</li> </ul>
本市の現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共下水道事業が計画されている</li> </ul>
上位関連計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道の整備にあたり、市街化の状況や土地区画整理事業等と整合を図りつつ、効率的な下水道事業を進め、あわせて集落排水事業等の他事業との連携を図りながら集落地での整備を進める(区域マス)</li> <li>・ 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止を防ぐため、下水道施設や農業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策等の推進を図る(国土強靱化)</li> <li>・ 河川施設等の防災対策を推進し、警戒・避難体制の整備や住民の避難場所の確保、救助活動を実施し、消防力の向上を図る(国土強靱化)</li> <li>・ 河川整備にあたっては、住民が水辺に親しむことのできる環境づくりや自然生態に配慮した環境づくりに努めつつ、流出量抑制措置等による総合的な治水対策を図る(区域マス)</li> </ul>
住民意向 (市民アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上下水道整備の満足度が比較的高い(重要度高・満足度高)</li> </ul>



課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>■河川等の維持               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川の水辺環境や周辺の自然環境を維持していく必要がある</li> <li>・ 近年、頻発する風水害等の自然災害に備え、水害対策の強化を図っていく必要がある</li> </ul> </li> <li>■下水道の維持管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的に進めてきた下水道施設の整備は概ね完了しており、今後は施設の適切な維持管理と水洗化率の向上に努め、快適な生活環境の確保と水質の保全を図る必要がある</li> </ul> </li> </ul>

## 2-1-3 都市環境

### (1)防災

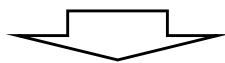
項目	現況・計画の位置づけ等
今日の社会情勢	・地震、風水害等自然災害に対する意識の高まり
本市の現況	・平川沿いに洪水浸水想定区域が指定されている
上位関連計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点機能を有する公園緑地として、総合公園、運動公園等の大規模な公園を適切に配置し、その他の公共施設緑地等と連携して災害時の避難拠点としての機能を強化する(区域マス)</li> <li>・土砂災害対策施設の整備や老朽化対策の推進等を図る(国土強靱化)</li> <li>・子どもから高齢者まで安全で安心して暮らせる環境の整備を進め、災害発生時における地域防災力の向上と減災、防災情報の普及啓発を行う(総合戦略)</li> </ul>
住民意向 (市民アンケート)	・防災施設や災害時の避難路、避難施設の整備の満足度が比較的高い(重要度高・満足度高)



課 題
<p>■都市防災の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点施設や安全な避難路・避難道路の確保、建築物の耐震化、防災体制の強化等、災害に強く安全な防災まちづくりを進める必要がある</li> </ul> <p>■住民主体の防災まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災体制の強化や防災組織の活動等、住民が主体となった防災まちづくりを進めていく必要がある</li> </ul>

## (2)環境

項目	現況・計画の位置づけ等
今日の社会情勢	・環境問題への意識の高まりによる、地球規模での取り組みの推進
本市の現況	・緑が多く、自然環境を保っており、自然災害も比較的少ない
上位関連計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然環境を守る環境対策に取組みながら安全で安心できる住環境を目指し、市民生活を支える道路や公園、上下水道など都市基盤の充実を図る(長期総合プラン)</li> <li>・生活環境の保全に関して必要な事項を定めた環境保全条例に基づいた公害防止対策により、快適な生活環境の確保に努める(長期総合プラン)</li> </ul>
住民意向 (市民アンケート)	・街並み・景観(緑、建物のデザイン等)について、市民ニーズを再確認するとともに、満足度の水準の維持又は、施策のあり方を改善する必要がある(重要度低・満足度高)



課 題
<p>■自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山、河川等、後世に残すべき豊かな自然を保全・活用する必要がある</li> </ul> <p>■循環型社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に配慮し、環境負荷の少ない資源循環型のまちづくりを進めていく必要がある</li> </ul>